

ニューテックZZ-03を注入した編集部コダイラの通勤用SR400の場合、オイル交換直後から以前よりスムーズに加速するのが体感できた。基本的に、良いオイルに性能的なデメリットは無いと考えて間違いない。



第1回 |

「アナタに合ったオイルはコレ！」

NUTEC 実験室



エンジンオイル編

Text / Harubumi Kodaira Photo / Takao Isobe & CLUBMAN 小平晴史 = 文 磯部孝夫 = 写真
取材協力 / ニューテックジャパン <http://www.nutec-japan.com/>

オイルでエンジンは生まれ変わる

いつものオイルとニューテックはだいぶ違う

コダイラがSR400に使っていたのは手頃な海外メーカー製オイル。ZZ-03と比較すると、色はほぼ同じだが、同じ粘度でも指先の感触ではZZ-03のほうがぬるぬる感が強い。そこでちょっとした実験。両者をそれぞれコップに注ぎ、内側の壁面にオイルを附着させて放置すると、時間の経過とともに油膜が下がってくる。30秒後に油膜の切れ目を比較してみると、某社製オイルの油膜の切れ目が大きく下がっているのに対し、ZZ-03の油膜の切れ目はそれほど下がってはいなかった。ニューテックの油膜保持性能の優秀性を、見た目でも証明する結果となった。



この実験で分かるのは、オイルの吸着性や油膜保持性の違いだ。例えば、油膜が下がりにくいオイルほど、エンジン停止後もシリンダー壁面に長くともまることから、エンジンを保護する性能に優れていることが分かる。

人の顔や考え方が一人一人違うように、世の中には様々なタイプのエンジンが存在し、コンディションも千差万別。だからオイルメーカー各社は、特性や粘度が異なる製品をラインナップする。そういう中から自分のバイクに合ったオイルを選ぶことは、質の高いオイルを選ぶのと同じくらい、実は重要だ。ニューテックは一般的なエンジンオイルに比べ、大幅に摩擦を減らすと同時に細かい隙間に入り込んで燃焼に関わる部分の気密性を高める効果がある。それは、独自に開発した薄く強い油膜のおかげ。直に触ると分かるが、感触としてはサラリとしていても、指先に付着したオイルをペーパーでぬぐうと粘り気がなかなか取れない。この薄く強い油膜が内部のあらゆる部分に入り込むことで、エンジン全体の効率を高めるのだ。

だから、ニューテックのオイルは、エンジンが持つ本来のパワーを引き出し、燃費を向上させ、部品の摩耗を防ぐことができる。都合の良いことはかりを書いていいると思われるかもしれないが、かつて本誌でも紹介したような「今までよりエンジンが軽く回る」、「ミッションの入り方が良くなった」などのユーザーのコメントが、何よりの証拠だ。良い結果を得るために、多くのラインナップの中から自分にとってのベストなオイルを選ぶのは簡単ではないが、その点でも、ニューテックの製品は、知識と経験が豊富なスペシャルショップで販売されているから安心。その道のプロのアドバイスを受けることができるのだ。左ページでは、オイル選びの2つの事例を紹介しているが、日本全国にあるニューテックスペシャルショップについては、ホームページを覗いてみてほしい。



毎日20kmほど市街地を走行するSR400のために選んだのは、ニューテックのラインナップの中で、最もコストパフォーマンスに優れたZZ-03だ。粘度は10W-40。SR400の純正指定オイルと同等の粘度を持つオイルである。

NUTEC for SuperSports Bikes



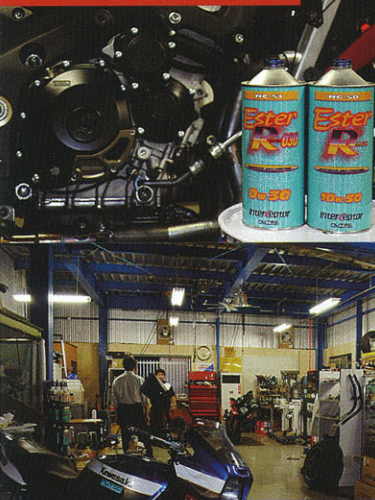
最新スーパースポーツは 粘度調整でパフォーマンスアップ

「月に2回はサーキット走行会に参加しますが、主に走る富士スピードウェイでは、最高速度300km/h以上にもなります。だから、ニューテック以外は考えられませんね」

山本泉さんは、以前所有していたGSX-R400でその良さを実感して以来、ニューテックを愛用している。最初に注入されていた純正オイルは例外だが、GSX-R1000を新車で購入してからというもの、ニューテック以外のオイルは一切使用していない。オイル交換のたびにマシンを持ち込むのは、ニューテックスベシヤルショップの秋葉モーターサイクルだ。

ショップ代表の秋葉さんにお話を伺うと、山本さんのGSX-R1000に使用しているのは、コストとパフォーマンスのバランスに優れたNC-50/51シリーズ。主にサーキット走行に使用するというので、パフォーマンスを損なうことなくエンジンを保護するため、気温に応じて最適な粘度に調整する。夏場は、固めのNC-50をそのまま使用することで保護性能を重視。涼しくなる秋以降は柔らかいNC-51と混合することで、オイル粘度でレスポンスが損なわれないように配慮しているという。

秋葉モーターサイクルが、山本さんのマシンに使用しているのはNC-50(10W-50)。そこに組成が同じで粘度が異なるNC-51(0W-30)を混合し、レスポンスの向上とエンジン保護という2つの目的をバランスさせている。NC-51の混合割合は気温に応じて0%〜50%までの間で変化させる。



スーパースポーツの鋭いレスポンスを楽しむには、質はもちろん適正な粘度を持つオイルを選択することが大切だ。山本さんのGSX-R1000は、気温に応じてオイル粘度を調整することで、安心してサーキット走行を楽しめる状態になっている。

GSX-R1000と
山本泉さんの場合

NUTEC Special Shop

■秋葉モーターサイクル

神奈川県大和市下鶴岡2782

Phone 046-274-8198 <http://www.akibamc.net/>

NUTEC for Classic Motorcycles



旧車特有のオイル消費を抑制して 本来の走りがよみがえる

「初めてニューテックを使ったのは、東京と京都を高速道路で往復したときです。レスポンスが良くなってエンジンをかなり回しましたが、心配していたオイル消費がほとんど無かったので、これは良いと思いました」

CL72に乗る山崎さんは、これまで様々なオイルを使ってきた。高価な化学合成オイルも使用したが、たとえエンジンパフォーマンスが上がっても、走行するたびにオイルが減ってしまったり、熱ダレしてしまったりと、旧車に化学合成オイルは合わないのかと半分あきらめていた。ニューテックを初めて試したのは、そんなときだった。

山崎さんが、エンジンオーバーホールからオイル交換まであらゆる作業をお願いしているニューテックスベシヤルショップ・伊藤自動車工業でお話を伺うと、山崎さんのCL72には、より基本性能に優れたNC-50/51をベースに、ベーシックな性能を持つZZ-03を混合して使用。こうすることで、高い潤滑性能とオイル消費の抑制という難しい課題を両立している。旧車ならではのレシピだ。

伊藤自動車工業の伊藤さんによると、山崎さんのCL72では、夏はNC-50(10W-50)、冬はNC-50とNC-51(0W-30)の混合オイル、それぞれZZ-03(10W-40)を25%ほど混合して使用している。NC-50/51の優れた潤滑性能でエンジンレスポンスを維持、同時にZZ-03がオイル消費を抑える方向に働くのだという。



ニューテックオイルは、旧車にまつわる多くの問題を解決してくれたと山崎さんは語る。オイル消費、熱ダレによるシフトフィーリングの悪化など、過去に試した化学合成オイルでは未解決だった部分を、見事に解決することができたという。

CL72と
山崎仁さんの場合

NUTEC Special Shop

■伊藤自動車工業

東京都杉並区久我山5-6-17

Phone 03-3331-2107 <http://www.itoujidousya.net/>

NUTEC Engine Oil Line-up

NC-50/NC-51/NC-52E

NC-40/41をベースに、購入しやすい価格を実現させた。モーターサイクル用オイルに求められる極圧性と耐衝撃性を備えるのも特徴の一つだ。標準小売価格2730円/1LのNC-50(10W-50)とNC-51(0W-30)、標準小売価格3045円/1Lで低粘度推奨エンジン用のNC-52E(0W-20)がある。



ZZ-01/ZZ-02/ZZ-03

ストリートを走るスタンダードエンジンや、ライトチューニングエンジン用に開発された化学合成オイル。ラインナップはZZ-01(5W-35)、ZZ-02(10W-45)、ZZ-03(10W-40)。3種類の粘度が設定されている。標準小売価格はZZ-03が1523円/1L、ZZ-01とZZ-02が2100円/1L。



UW-01/UW-02

ハイパフォーマンスチューニングパーツとして開発された、ニューテックの最高峰オイル。100%化学合成で、ラインナップはUW-01(0W-10)、UW-02(10W-60)の2種類。この2つのオイルを混合して適正粘度にすることを前提に開発されている。標準小売価格は5250円/1L。



NC-40/NC-41

通常のレース用オイルは寿命が短いのだが、レース用として開発されながらロングライフ化を図り、一般公道走行車まで使える100%化学合成オイル。粘度はNC-40(5W-30)、NC-41(10W-50)の2種類がラインナップされている。標準価格3885円/1L、1万4490円/4L。



オイル添加剤を
モータープレゼント!
ニューテック実験室の隔月連載を記念して、ニューテックシヤルから高性能モーターサイクル用オイル添加剤を各種リリース。NC-03は、それだけでオイルに使用できる性能を持つ高性能添加剤だ。応募要項は、16ページをご覧ください。